

平成30年度島根県普通会計決算 及び健全化判断比率等の概要

1. 普通会計決算

(1) 総括

歳入については、総額4,840億円で、対前年度比1.9%、92億円の減額となった。

県税や国庫支出金の増加があったが、リーマンショック後に設けられた歳出特別枠の廃止等により地方交付税が減少したほか、中小企業制度融資貸付金元利収入が減少し、全体として減少した。

歳出については、総額4,634億円で、対前年度比2.2%、102億円の減額となった。

補助公共事業の増により普通建設事業は増加したが、貸付金や公債費の減少により、全体として減少した。

(単位：百万円)

区 分	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
歳 入 総 額 ①	484,038	493,233	▲ 9,195	▲ 1.9%
歳 出 総 額 ②	463,360	473,608	▲ 10,248	▲ 2.2%
翌年度繰越財源 ③	12,750	11,139	1,611	14.5%
実 質 収 支 ④=①-②-③	7,928	8,486	▲ 558	▲ 6.6%

